

明るい選挙推進県本部 開設

知事選や県議選などが行われる統一地方選を前に、県選挙管理委員会と県明るい選挙推進協議会は14日、「統一地方選挙明るい選挙推進県本部」を開設した。

1975年の統一選から毎回設置し、投票率アップや違反のない選挙を目指してキャンペーンをしている。18歳選挙権の導入後初めての統一選となることから、「スマホ置き、投票紙持ち、まず一票」との標語を掲げ、高校や大学で投票を呼びかけるPR活動をする。

2015年の統一選では、知事選、県議選ともに、過去最低の投票率を記録。この日、県庁6階の選挙管理委員会空前に看板を掲げた野路武夫・県明るい選挙推進協議会副会長は「これまで以上に、若い人をはじめとした幅広い世代に投票してもらえよう、PRしていきたい」と力を込めた。



県本部に掲げられた看板(県庁で)

ニュース &

統一地方選へ よろず相談所

県選管開設、HPも
春の統一地方選に向け県選管は4日、県庁に「選挙よろず相談所」を開設した。有権者や候補者らの問い合わせに電話と面談で応じる。臨時ホームページも開設した。

相談所は県選管室内に設け、職員4人が対応する。県選管の入り口に看板を掲げた金井享委員長は「統一地方選は地元で密着した選挙。県民には投票に足を運んでもらう、声を政治に反映させてほしい」と話した。



統一地方選に向け、「選挙よろず相談所」の看板を掲げる金井委員長 = 4日、県庁

統一地方選の市町開票日となる4月21日まで開設する。平日の午前8時半～午後5時15分(正午～午後1時を除く)と投票日の4月7、21日に受け付ける。問い合わせ

せは相談室☎0776600357。ホームページには、知事、県議選の日程や選挙区などを紹介している。県選管によると、2015年の統一地方選では相談所を開設した77日間で、1743件の相談があった。立候補の書類の書き方や期日前投票所の場所の問い合わせが多かったという。(牧野将寛)

春の統一地方選へ 作業の流れを確認

県・市町選管が会議

春の統一地方選に向けた県選管と市町選管の合同会議が15日、県庁で開かれた。写真前回に比べて事務が増え、投票率の向上が課題とされる



中、選挙の万全な管理執行へ向けた作業の流れを確認した。担当者43人が出席。県選管の金井享委員長は「今回、県議選で初めて選挙公報を発行し、選挙運動用ヒラの頒布が

可能となったことで新たな業務が発生する。多くの事務が重複することになるが、細心の注意を払ってほしい」とあいさつ。選挙権年齢が18歳に引き下げられて初めての統一地方選であることにも触れ、若者を投票立会人に選任するなど、選挙への関心を高める方策の実施も求めた。この後、県選管の担当者、今後の日程や留意事項を説明した。(坂下亨)

県警、1216人態勢

統一選挙前取締本部を設置

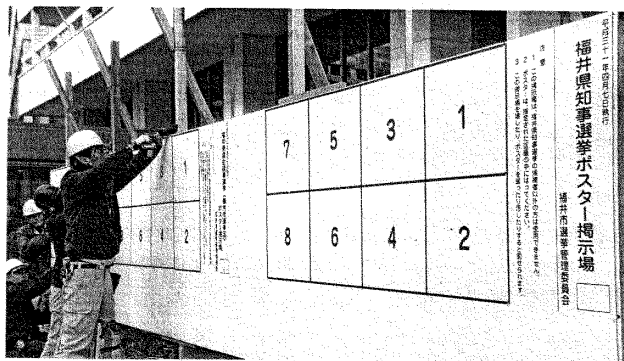
方針」と話した。

(梶山佑)



捜査2課の出入りに看板を掲げる捜査員=県警本部で

統一地方選を前に県警は二十日、事前運動取締本部を県警本部と県内の全警察署に設置した。計十二百十六人の態勢で違反を取り締まる。県警捜査課によると、昨年末から十九日までに計六件の警告を出した。内訳は街頭で支援を呼び掛けた事前運動が知事選で一件、文書の頒布が市議選で一件、文書などの掲示が知事選と県議選で計四件。同課の見好康宏次席は「悪質な違反については投票日前であっても検挙する



ポスター掲示場設置始まる

統一地方選 2006

投票用紙の梱包作業も 県選管

統一地方選用のポスター掲示場を設置する作業員ら。福井市

今春の統一地方選に向け、福井市選管は27日、知事選（3月21日告示、4月7日投票）と県議選（3月29日告示、4月7日投票）票、同市議選（4月14日告示、同21日投票）の立候補者のポスター掲示場の設置を始めた。

同市役所前では委託業者がいずれも樹脂製で、横7・28センチ、縦1・37センチの知事選（8区画）と県議選福井市選挙区（18区画）用掲示板、同市議選（45区画）用掲示板を2枚重ねた木枠に取り付けられた。前面の知事選と県議選用を取り外すと、市議選用を使用できる。同市選管は3月15日までに、市内684カ所に掲示場を設置する。

また、県選管も各市町に送る知事選と県議選用の投票用紙計137万5500枚の梱包作業を始めた。県庁で県選管職員が計数機で枚数を確認するなど作業にあたった。梱包は3月1日まで行われ、同4日に市町に発送する予定。

2月28日 県民福井



新たに導入された専用の機械で投票用紙の枚数を数え、不備がないか確認し各市町ごとに仕分けて梱包する県選管の職員ら。県庁で（山田陽撮影）

投票用紙 梱包始める 各市町へ4日発送

県知事選と県議選（四月）管は二十七日、各市町に送る投票用紙の梱包作業を県庁で始めた。作業は今週いっぱい予定で、三月四日に発送する。

投票用紙は知事選が白色、県議選が薄い黄色。それぞれの点字投票用紙や、船員不在者投票用紙を合わせ、計百三十七万五千五百枚用意した。

県選管の職員十人ほどが、専用の機械で枚数を確認した。県選管によると、今回初めて機械を導入。差し込み口に入れた投票用紙を自動で数える仕組みで、担当者は「手作業で枚数を数えていた例年よりも、作業がスムーズに進んでいる」と話していた。

不在者投票用の封筒や各種証明書など計九万六千八百四枚を含め、各市町ごとに仕分けし梱包して送る。（山口育江）

3月1日 毎日新聞

知事選説明会に3陣営

県選管は28日、知事選の立候補予定者説明会を県庁で開いた。これまでに不出馬意向を示している▽無所属で現職の西川一誠氏（74）▽無所属新人で元副知事

の杉本達治氏（56）▽共産党公認で党県書記長の金元幸枝氏（60）の3陣営が出席し、届け出の順番などについて説明を受けた。県選管は3月21日告示、4月7日投票。三つどもえの選挙戦となれば、西川氏が初当選した2003年以来となる。（大森治幸）

君の1票が 未来決める

CEPT高3生に投票呼び掛け

4月7日投票の知事選、県議選に向け、若者の投票率向上を図ろうと、県内の大学生らでつくる「県明の選挙推進青年活動隊（CEPT＝セプト）」は1日、福井市の羽水高で卒業式を終えた3年生に1票の大切さを訴えた。進学で県外に引越す生徒も多く、不在者投票制度の利用も呼び掛けた。（宇野和宏）【30面に関連記事】



知事選・県議選に向け、CEPTのメンバー（奥が卒業式を終えた高校3年生に投票を呼び掛けた）1日、福井市の羽水高（横田崇彦撮影）

CEPTの小野深太さん（県立大2年）ら5人が、「きみのミライを決めよう」と書かれた横断幕を持って登壇した。3年1組の42人に向け、「これからの福井を動かしていくのは皆さん。声や要望を県政に届けてほしい。選挙権を持って最初の選挙に行くことでその後も続けて投票に行くようになる」と訴えた。

また、「投票日に用事があっても期日前投票できるので大丈夫」と話し、ショッピングセンターや大学でも投票できることを説明した。

2017年の衆院選で県内の18歳の投票率は50・69％、19歳は29・08％で大きな開きがあった。親元に住民票を残したまま進学や就職で県外に引越す、不在者投票制度を利用しなかったケースが多かったとみられる。

このため、1日の活動で選挙人名簿登録地の市町選管に郵送する不在者投票宣言書・請求書も配り、福井に帰省しなくても投票できることを説明した。県選管はこの日までに県立、私立高の全3年生に宣言書・請求書を配った。

3月5日 県民福井

県選管 投票用紙を発送



投票用紙の入った箱をリレーしてトラックの荷台に積み込む職員たち＝県庁で（山田陽撮影）

3月2日 読売新聞

県議選説明会が始まる
6選挙区27陣営
29日告示、4月7日投票
票の県議選（定数37）の立候補予定者説明会が1日、始まった。この日県庁で開

かれた6選挙区分に計27陣営が出席し、福井市、大野市、あわら市については定数を上回った。5、6日にも開かれる。
この日出席した陣営数は▽福井市（定数12）▽現職10、元職2、新人3の計15▽大野市（2）▽現職1、新人3の計4▽勝山市（1）▽新人1▽あわら市（1）▽現職1、新人1の計2▽坂井市（4）▽現職4▽吉田郡（1）▽現職1。5日は▽鯖江市（3）▽越前市・今立郡・南条郡（5）▽丹生郡（1）の各選挙区について、越前市のサントーム福井が開催。6日は▽敦賀市（3）▽小浜市・三方郡・三方上中郡（3）▽大飯郡（1）について、小浜市の小浜土木事務所が開く。いずれも午後1時半から。

四月七日投票の知事選と県議選を前に、県選管は四日朝、県庁で投票用紙などをトラック三台に積み込み各市町選管に発送した。県選管によると、正午ごろに全て到着したという。発送したのは知事選と県

議選それぞれの投票用紙、点字投票用紙と、船員不在者投票用紙の五種類、計百三十七万五千五百枚。書類や封筒も含めて段ボール八十七箱に詰め、県選管職員約二十人がトラックに積み込んだ。

今回の知事選、県議選では十八、十九歳も投票権を得ていることから、前回選（二〇一五年）よりも投票用紙は一万五千五百七十枚多い。また、事務効率化を進めるため、開票結果報告書などは、紙での発送を廃

止し、各市町選管にデータ送信された。発送式で県選管事務局の小林弥生書記長は「大切な投票用紙。細心の注意を払って十七市町選管に届けてほしい」とあいさつした。（青木孝行）

統一選ふくい

投票しやすい 環境整備要請

県選管、経済団体などに
4月7日投票の知事選、
県議選に向け、県選管などは
13日、初めて県内の経済団体
などに投票しやすい環境整備
などを要請した。

要請は、会員企業や従業員
に対し▽投票参加の呼び掛け
▽投票日または期日前投票期
間に休暇を付与するなど投票
しやすい環境整備に配慮▽期
日前投票の呼び掛け▽長期出
張等で県外に滞在している場
合は不在者投票の呼び掛け
の4項目。
福井市の福井商工会議所に



投票しやすい環境整備などを求める要請書を川田県頭(左)に手渡す金井委員長(右)13日、福井市の福井商工会議所

は、県選管の金井亭委員長と
県明の選挙推進協議会の橋
詰武安会長が訪れ、県商工会
議所連合会の川田達男会頭に

要請書を手渡した。
金井委員長は「選挙は国民
が政治に参加する重要な機
会。国民の意思が政治に正し
く反映されなければならな
い」と述べ、理解を求めた。
これに対し、川田会頭は「で
きるだけ投票に行きやすい対
応したい」と応じた。
県選管などは県商工会連合
会や県中小企業団体中央な
どもにも要請した。2015年
の知事選の投票率は48・59%
と過去最低、県議選は54・50
%だった。(牧野将寛)

統一選ふくい

県警が1260人態勢の 違反取締本部設置

統一地方選を前に県警は
12日、選挙違反取締本部
を県警本部と県内の全警察



統一地方選の選挙違反取締本部の看板を取り付ける捜査員。県警本部で

署に設置した。先月二十日
に設置した事前運動取締本
部から約四十人増員し、千
二百六十人態勢で違反を取
り締まる。
捜査一課によると、十一
日までの警告は計二十八件
あり、前回の同時期より四
件多い。内訳は、選挙事務
所の立ち上げ準備について
会員制交流サイト(SN
S)に掲載した違反や街頭
で支援を呼び掛けた
事前運動が計二件、
ポスターなどの掲示
での違反が計二十五
件だった。

捜査一課の担当者は「悪質な違反であ
れば投票日前でも検
挙す」とコメント
した。(梶山佑)

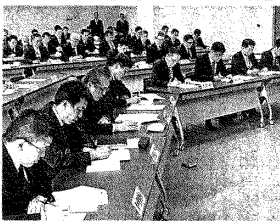
統一選ふくい

悪質な選挙違反 取り締まり徹底

県警署長会議で確認

県警の警察署長会議が14
日、県警本部であり、統一地
方選で選挙の公正を害する悪
質な違反を徹底して取り締ま
る方針を確認した。写真

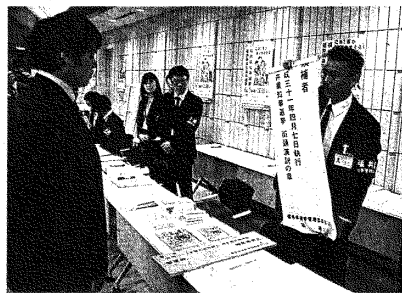
全11署長や本部所属長ら74
人が出席した。滝澤幹滋本部
長は、買収や詐偽投票、投票偽
造、公務員などの地位利用、計
画的・組織的な法定外文書頒
布などについて積極的に情報
収集し摘発するよう訓示。軽
微な違反であっても機を逸す
ることなく警告などの措置を
講じ、違反を続ける者に対し



ては厳正に対処してほしい」と述べた。インターネットを
利用した悪質な誹謗中傷、な
りすまについては、候補者
や政党などからの被害相談に
適切に対応するよう求めた。
各部長も取り締まりの方針
を示し、警備部は政党幹部な
ど要人の警護、警備の徹底な
どに力点を置くとした。
(嶋本祥之)

選管、入念にリハーサル

きょう 告示



立候補届け出のリハーサル。担当者が候補者
役名に「七つ道」の説明をした。県庁で

いた。
知事選は現職に新人
2人が挑む構図となる
公算が大きく、少子化
対策や原発稼働の賛否
などを巡る論戦が期待
される。22日からは期
日前投票ができ、4月
7日の投票日は県内4
03カ所に投票所が設
置される。3月20日現

在の選挙人名簿登録者
数は64万9648人。
福井市の21万8226
人が最も多く、坂井市
の7万5553人が続
いた。【大森治幸】

2019 知事選

任期満了に伴う知事
選の告示を翌日に控え
た20日、立候補の届け
出を受理する県選管
理委員会の職員20人が
県庁でリハーサルに臨
んだ。立候補の届け出
は21日午前8時半〜午
後5時、県庁地下1階
の正庁で受け付ける。
受け付け順を決める
くじ引きから書類の
審査、個人演説会用立
て札など「七つ道具」
の交付までを確認し
た。県選管の小林弥
生書記長は「当日も迅
速かつミスのない作
業をしたい」と話して

政見放送日程発表
 県選管は二十一日、知事
 選候補者の政見放送日程を
 発表した。

▽NHKテレビ 27日午
 後6時半、4月4日午前7
 時半▽NHKラジオ第1
 3月29日午前7時25分、4
 月1日午後9時5分▽福井
 放送テレビ 3月31日午後
 3時25分▽福井放送ラジオ
 31日午前9時半▽福井テ
 レビ 29日午後2時55分、
 30日午後4時半

知事選の告示において、県選
 管の金井事務局長が政見を发表
 した。要旨は次の通り。
 選挙は民主主義の基盤をなす
 ものであり、地方選挙は身近な
 政治に対して住民が意見を表明
 する最大の機会、その中でも知
 事選は、今後の4年間の県政を
 託すリーダーを選ぶ重要な選挙
 だ。要旨は次の通り。
 選挙は民主主義の基盤をなす
 ものであり、地方選挙は身近な
 政治に対して住民が意見を表明
 する最大の機会、その中でも知
 事選は、今後の4年間の県政を
 託すリーダーを選ぶ重要な選挙
 だ。

県選管委員長談話

引き下げられてから初めての知
 事選。多くの有権者に投票参加
 を呼びかけている。有権者は
 生活と密接にかかわる選挙の意
 義を十分認識され、選挙公報や
 政見放送、演説会、インターネット
 サイトによる選挙運動などを通じ
 て、候補者の主義、主張を十分
 見極め、貴重な一票を投じるよ
 う切望する。
 候補者、選挙に携わる人には
 ルールを守ったきれいな選挙を
 展開し、有権者の信頼と期待に
 応えるよう願う。

有権者64万9648人
 前回より3795人増
 県選挙管理委員会は20
 日、同日現在の選挙人名簿
 登録者数を発表した。県全
 体では64万9648人で、
 男女別の内訳は男性31万2
 795人、女性33万685
 3人。前回知事選告示前
 (2015年3月25日現在)
 と比べ、3795人増
 えた。

選挙人名簿登録者数

(20日現在、県選管発表)		計
男性	女性	
福井市	104,562	218,226
敦賀市	26,761	54,544
小浜市	11,928	24,537
大飯町	13,535	28,512
勝山市	9,462	19,986
鯖江市	27,250	56,376
あわら市	11,281	24,006
越前市	32,204	66,216
坂井市	36,284	75,553
越前市	273,267	567,956
吉田郡	7,505	15,585
永平寺町	7,505	15,585
今立町	1,096	2,319
池田町	1,096	2,319
南条郡	4,335	9,097
南越前郡	4,335	9,097
丹生郡	8,804	18,284
越前郡	8,804	18,284
三方郡	4,013	8,261
美浜町	4,013	8,261
大飯町	7,762	15,551
高浜町	4,377	8,725
高浜町	3,385	6,826
三方町	6,013	12,595
上方町	6,013	12,595
若狭郡	39,528	81,692
郡計	42,164	81,692
県計	312,795	649,648

七つ道具手に出陣 各陣営が受け付け



腕章など選挙の七つ道具を受け取る陣営関係者＝県庁で

知事選が告示された二十一日、三陣営が県選管に立候補を届け出た。くし引きで、届け出順は金元幸枝さん(こし)杉本達治さん(すぎもと)と、理人が届け出書類を提出し

た。その後、選挙事務所の標札、街頭演説用標旗、選挙運動員の腕章など「選挙の七つ道具」や新聞広告掲載証明書など各種証明書を選挙職員から受け取った。(長谷川寛之)

一足早く1票に思い

県内、期日前投票始まる

3日 知事選の期日前投票が22日、県内全市町で一斉に始まった。投票日に予定がある有権者が一足早く投票を済ませた。一部を除き、投票票日付日の4月6日まで受け付け



パリオシテに設置された期日前投票所で1票を投じる有権者。22日、福井市

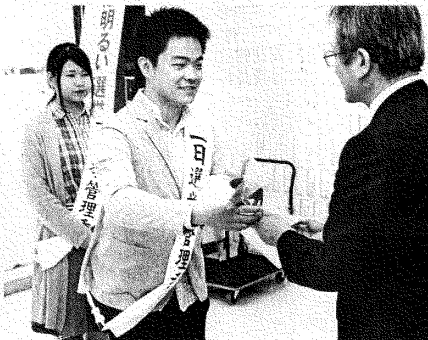
今回は選挙権年齢が18歳に引き下げられてから初めての知事選。福井市のパリオシテにある期日前投票所には、専門学生の野々垣美央さん(19)と、姉で大学生の菜都美さん(21)が訪れた。美央さんは「県外に出て行く友達が多いので、知事には魅力ある福井にしてほしい」と願って投票しました。帰省中の菜都美さんは「就職で福井に戻る予定なので、将来の福井がよくなるようにとの思いを託しました」と話していた。期日前投票所は市役所や町役場、ショッピングセンターなど49カ所に設置。福井大は4月3～5日、県立大は同2

4日、福井大は同1、2日。受け付けは原則午前8時に開設する。2015年の午後8時。問い合わせは前回知事選より9カ所増え、各市町選管。(野田勉)

3月25日 産経新聞

「明るい選挙」を呼びかけ

大学生2人 立候補者に白バラ



明るい選挙を呼びかける「一日選挙管理委員」の2人＝福井市

4月7日に投票される知事選に向け、「一日選挙管理委員」を委嘱された大学生2人が、知事選に立候補した3氏の事務所を訪

れ、明るい選挙の推進を呼びかけた。一日選挙管理委員に委嘱されたのは、若者への選挙啓発に取り組みボランティア

アグループ「CEPT(県明るい選挙推進青年活動隊)のメンバーで、県立大経済学部2年の小野深太さん(20)と敦賀市立看護大2年の中野鈴奈さん(20)。県庁で委嘱式があり、県選管の金井亨委員長が「明るくきれいな選挙を推進するために必要な事業」と激励。2人は委嘱状とたすきを受け取った。2人は福井市内にある3氏の選挙事務所を訪問。「ルールを守ったきれいな選挙を心掛け、有権者の信頼と期待に応えてほしい」とした要望書を読み上げ、明るい選挙のシンボル「白バラ」を事務所の関係者に手渡した。

3月26日 読売新聞

期日前投票所に小中生啓発書写

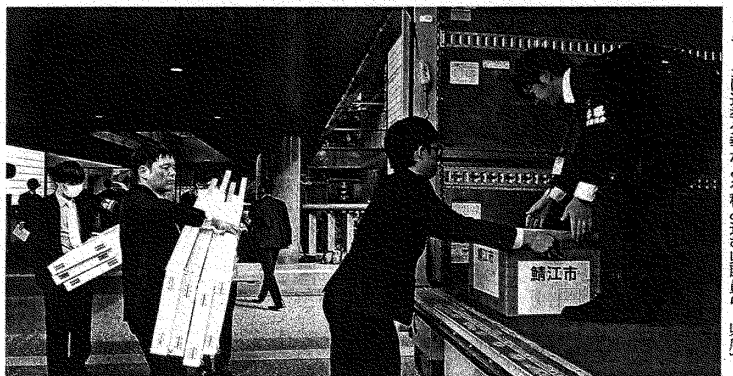
統一選 2019



4月7日投票の知事選、県議選の投票を促そうと、県選挙管理委員会と県明るい選挙推進協議会は、敦賀、小浜市と池田、おおい両町を除く13市町の期日前投票所、小中学生から公募した「明るい選挙啓発書写作品」を展示している。4月6日まで。昨年、県選管などが公募した「あかるい、せんきょ」「一票」「投票」などの題に小学生の部5106点、中学生の部479点が集まった。入賞作品100点の表彰などはすでに終わっており、啓発に活用しようと展示を企画した。25日に福井市役所を訪れた同市の会社員重信颯人さん(26)は「力強い『投票』の文字を見て、気が引き締まった。必ず投票したい」と話していた。問い合わせは県選管(0776・20・0262)へ。

3月26日 県民福井

県選管 各市町に選挙公報発送



トラックに選挙公報などを積み込む県職員ら。県庁で

県選管は、二十五日、知事選(四月七日投票)候補者の政策や経歴を掲載した選挙公報などを各市町選管へ発送した。遅くとも五日までには、県内の全二十九万五千百十二世帯(一月末現在)に届けられる。知事選の選挙公報三十一万五千六百二十部のほか、県議選の立候補を受け付ける十一市町と県領南振興局には、選挙運動員用の腕章や自動車表示板なども送られた。県選管によると、前回二〇一五年の知事選と比べ、選挙公報の配布部数は三千九百部増えている。選挙権が十八歳以上に引き下げられ、大学生の一人暮らし世帯などが

選挙人名簿登録者数
(2019年3月28日現在)

	男	女	計
福井市	104,538	113,632	218,170
あわら市	11,275	12,722	23,997
坂井市	36,280	39,258	75,538
勝山市	9,462	10,518	19,980
大野市	13,531	14,966	28,497
鯖江市	27,251	29,117	56,368
越前市	32,210	33,998	66,208
敦賀市	26,758	27,775	54,533
小浜市	11,924	12,607	24,531
市計	273,229	294,593	567,822
永平寺町	7,504	8,076	15,580
越前町	8,794	9,474	18,268
池田町	1,096	1,222	2,318
南越前町	4,331	4,759	9,090
若狭町	6,007	6,578	12,585
美浜町	4,009	4,247	8,256
おおい町	3,382	3,440	6,822
高浜町	4,376	4,344	8,720
町計	39,499	42,140	81,639
県計	312,728	336,733	649,461

有権者64万9461人 県選管発表

県選管は28日、同日現在の選挙人名簿登録者数を発表し、総数は64万9461人で、2015年の前回県選管より3995人増えた。内訳は男性31万2728人、女性33万6733人。市町別では、福井、鯖江、坂井市など6市町が15年より増えた。福井市は15年比3414人増の21万8170人、鯖江市が同2100人増の5万7336人、坂井市が同1502人増の7万5538人などとなっている。減少数が一番多かったのは大野市で、同767人減の2万8497人だった。

<複数の市町にまたがる
県選管選挙区の計>

市町	37,637	39,979	77,616
越前市・立南			
小浜市・三方	21,940	23,432	45,372
大飯郡	7,758	7,784	15,542

選挙人名簿登録者数から算出する県選管の選挙運動費用制限額は、あわら市が最も高く589万1800円。最も低いのは大野市で、508万2700円となる。(牧野将寛)

3月29日 県民福井

「主張見極めて」

県選管の金井亨委員長は、県選管告示に当たり談話を発表した。要旨は次の通り。

県選管は住民にとって身近な政治に携わる代表者を選ぶもので、誰もが安心して暮らせる地域社会を実現するため、極めて重要な意義があります。

選挙権年齢が満十八歳以上へ引き下げられて初めての県選管で「一人一票」を投票紙持ち、まっとう一票を

合言葉に、多くの有権者に投票参加を呼びかけています。

有権者の皆さまには選挙の意義を十分に認識して候補者の主義・主張を十分に見極めて、地域の代表にふさわしい人に貴重な一票を投じるよう切望します。候補者には、ルールを守り有権者の信頼と期待に応えられるよう念願します。

3月30日 産経新聞

県議選告示

8選挙区で選挙戦

統一地方選前半戦の県議選(定数37)が29日告示され、12選挙区に前回よりも2人多い47人が立候補を届け出た。4選挙区は無投票となり、現職8人と新人2人の計10人が当選を決めた。他の8選挙区では27の議席をめぐる、9日間の選挙戦が始まった。投票は知事選と同じ4月7日、即日開票される。

無投票当選者を含む立候補者3人、新人14人。党派別補者の内訳は現職30人、元では自民27人、立憲民主1



4選挙区 10人無投票当選

公明1人、共産1人、無所属17人。

選挙戦となったのは、福井市(定数12)▽敦賀市(同3)▽小浜市・三方郡(同3)▽大野市(同2)▽あわら市(同1)▽坂井市(同4)▽丹生郡(同1)▽大飯郡(同1)。

福井市選挙区には現職

4月1日 福井新聞

「7日は投票日」 買い物客にPR

県選管など7日の知事選、県議選開票まであと1週間となった31日、県選管と県明の選挙推進協議会は福井市のエルパと敦賀市のアピタ敦賀店で、買い物客に投票を呼び掛けた。



「7日は投票日」と参加者を激励。明るい選挙イメージキャラクターの「めいすいサウルス」も登場し、子どもたちに変顔を振りまいて親子連れにアピールしたり写真、エルパなど県内49カ所に設けた期日前投票所の利用も呼び掛けた。(藤野大輔)

「7日は投票日」

10人と元職2人、新人3人が立候補し、激しい選挙戦が予想される。各候補は北陸新幹線県内延伸に伴う地域活性化、若者の県内定着などの政策を支持者に訴えた。大野市選挙区は12年ぶりの選挙戦。いずれも候補者数が定数を1人上回った敦賀市と小浜市・三方郡・三方上中郡は少数激戦になりそうだ。

一方、無投票となったのは、勝山市(定数1)、鯖江市(同3)、越前市・今立郡・南条郡(同5)、吉田郡(同1)。

期日前投票県内状況
(初日から10日分)

	19年	15年
福井市	15,496	4,229
あわら市	968	491
坂井市	3,046	1,094
勝山市	1,413	550
大野市	1,289	457
鯖江市	1,784	768
越前市	1,980	747
敦賀市	1,081	272
小浜市	1,098	642
市計	28,155	9,250
永平寺町	971	340
越前町	888	455
池田町	131	67
南越前町	553	298
若狭町	1,016	747
美浜町	497	198
おおい町	376	213
高浜町	401	215
町計	4,833	2,533
県計	32,988	11,783

※19年は3月22～31日、15年は3月27～4月5日

統一選ふくい
期日前投票3万2988人
知事選 10日間、前回比2.7倍

選挙管は1日、知事選の期日前投票状況を発表した。3月22日から31日までの10日間、日当たり千人を超えた。県議選の期日前投票は投票開始日前日の6日まで、期日前投票所は市役所や町役場、ショッピングセンターなど49カ所に設置してある。受け付けは原則午前8時半～午後8時。飯野将博初回の県議選公報を11市町向け発送

選挙管は1日、県議選の期日前投票状況を発表した。3月22日から31日までの10日間、日当たり千人を超えた。県議選の期日前投票は投票開始日前日の6日まで、期日前投票所は市役所や町役場、ショッピングセンターなど49カ所に設置してある。受け付けは原則午前8時半～午後8時。飯野将博初回の県議選公報を11市町向け発送



選挙管は1日、県議選の期日前投票状況を発表した。3月22日から31日までの10日間、日当たり千人を超えた。県議選の期日前投票は投票開始日前日の6日まで、期日前投票所は市役所や町役場、ショッピングセンターなど49カ所に設置してある。受け付けは原則午前8時半～午後8時。飯野将博初回の県議選公報を11市町向け発送

選挙管は1日、知事選の期日前投票状況を発表した。3月22日から31日までの10日間、日当たり千人を超えた。県議選の期日前投票は投票開始日前日の6日まで、期日前投票所は市役所や町役場、ショッピングセンターなど49カ所に設置してある。受け付けは原則午前8時半～午後8時。飯野将博初回の県議選公報を11市町向け発送

選挙管は1日、知事選の期日前投票状況を発表した。3月22日から31日までの10日間、日当たり千人を超えた。県議選の期日前投票は投票開始日前日の6日まで、期日前投票所は市役所や町役場、ショッピングセンターなど49カ所に設置してある。受け付けは原則午前8時半～午後8時。飯野将博初回の県議選公報を11市町向け発送

4月3日 県民福井

7日の開票速報へ
選挙管打ち合わせ
知事選、県議選が終盤に近づくと、選挙管は1日、知事選の期日前投票状況を発表した。3月22日から31日までの10日間、日当たり千人を超えた。県議選の期日前投票は投票開始日前日の6日まで、期日前投票所は市役所や町役場、ショッピングセンターなど49カ所に設置してある。受け付けは原則午前8時半～午後8時。飯野将博初回の県議選公報を11市町向け発送



県庁に全十七市町の選挙職員約三十人を集め、七日夜に行う開票速報の打ち合わせ会議を開いた。二つの選挙での候補者別に得票をまとめた開票速報は、選挙管が午後九時半から十時半までは三十分おきに発表する。各市町は同九時を皮切りに開票と集計に入る予定で、選挙管担当者が「県への中間報告は決められた時間にしてください」と求めた。選挙管と市町選挙管で五日に亘りハールサルを行う確認もした。また選挙管からマ選公報は五日までに各家庭に配ってほしい▽知事選と県議選が併せて実施される市町では投票所で有権者に二種類の投票用紙を確実に渡してほしいなどの注意事項も伝えた。(尾崎隆彦)

選挙公報 県議選に導入
書体、構図訴えに個性

候補者の公約や経歴を選挙区ごとにまとめた有権者に配布する選挙公報が、今回の県議選で初導入された。公約が比較できるほか、書体やレイアウトなどで見やすさも工夫されている。投票の判断材料が増えた「個性が出ていて面白い」と有権者が好評だ。選挙管は1日、知事選の期日前投票状況を発表した。3月22日から31日までの10日間、日当たり千人を超えた。県議選の期日前投票は投票開始日前日の6日まで、期日前投票所は市役所や町役場、ショッピングセンターなど49カ所に設置してある。受け付けは原則午前8時半～午後8時。飯野将博初回の県議選公報を11市町向け発送

選挙管は1日、知事選の期日前投票状況を発表した。3月22日から31日までの10日間、日当たり千人を超えた。県議選の期日前投票は投票開始日前日の6日まで、期日前投票所は市役所や町役場、ショッピングセンターなど49カ所に設置してある。受け付けは原則午前8時半～午後8時。飯野将博初回の県議選公報を11市町向け発送



今回の県議選で初めて導入された「選挙公報」

福井市選挙区の公報には、候補者15人の名前や写真、キャッチコピー、公約などが盛り込まれている。文字は読みやすく、構図も訴えに個性を演出している。選挙管は1日、知事選の期日前投票状況を発表した。3月22日から31日までの10日間、日当たり千人を超えた。県議選の期日前投票は投票開始日前日の6日まで、期日前投票所は市役所や町役場、ショッピングセンターなど49カ所に設置してある。受け付けは原則午前8時半～午後8時。飯野将博初回の県議選公報を11市町向け発送

4月5日 読売新聞

J・K課メンバーから啓発グッズを受け取る高校生(鯖江市で)

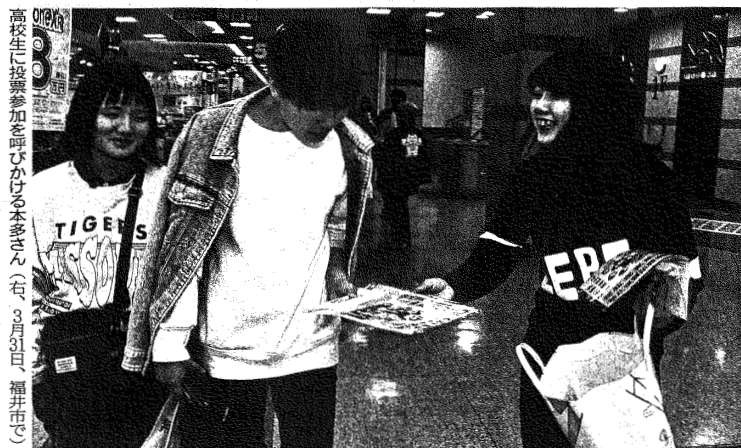


アル・プラザ鯖江 あすまで期日前投票所

県選管が公募した若者グループ「県民の選挙推進青年活動隊」(CEPT-Jセプト)と、女子高校生によるまちづくりチーム「鯖江市役所JK課」の計6人が4日、鯖江市内の商業施設で知事選と県議選への投票を呼びかけた。同市の商業施設「アル・プラザ鯖江」では4日から6日まで期日前投票所が設置されている。県選管によると、鯖江市で商業施設内に期日前投票所が設置されるのは初めてという。この日、JK課の4期生(高松佳さん17)らは「投票をお願いします」と声をあげながら、「この一票が未来を変える」と書かれたチラシなどの啓発グッズを買い物客らに手渡した。受け取った越前市池泉町の会社員大塚基(29)は「高校生から呼びかけられて、ますます選挙に行かなくちゃいけないと思った。生徒3か月の娘がいるので、自分の一票で、子育てしやすい福井になれば」と話していた。

J・K課「未来変える一票を」

若者投票 同世代呼びかけ



高校生に投票参加を呼びかける本多さん(右、3月31日、福井市で)

統一選 2019

県選管公募グループ

選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられてから初の統一地方選となる7日投票開票の知事選と県議選。一足早く国政選挙で初めて投票した若者らが、自らの体験を同世代に伝え、投票を呼びかけている。県内は特に19歳の投票率が低迷している。呼びかける活動に同行し、若者世代の話聞いた。(大川哲拓)

「7日は選挙です」「投票を配っていた。票して欲しい」と。投票を呼びかけていたのは、県選管公募グループのメンバー。立大4年本多鼓さん(21)が、開票日までの最後の日曜日。福井市の大規模商業施設で、大学「県明るい選挙推進青年生活クラブ」が主催する選挙推進青年活動(CEPT)のメンバーが、若者らにチラシを配っていた。

の副リーダーを務めており、18歳選挙権導入後の2016年参院選で初めて投票した。「今回の選挙は、身近なリーダーを決める大事な選挙。普段知事や県議が何をしているのかを知りたい」と語る。

本多さんからチラシを受け取った数賀比高3年安達稀海さん(17)は、7日に18歳の誕生日を迎える。保守分裂とかはよく分からないけど、お母さんと一緒にいろいろ調べておきたい」と話した。

■県内19歳 低投票率 全国的に、18歳の投票率は高く、19歳は低調な傾向がある。前回衆院選で、県内の18歳の投票率は50・69%だったのに対し、19歳は29・08%で、全国平均(33・25%)も下回った。高校生は家族に連れられて投票に行きやすい一方、大学生は親元に住民票を残したまま進学先の県外に引越す

知事、県議 「身近なリーダー知るきっかけ」

ケースが多いためと考えられる。特に今回の選挙は、新年度に入ってすぐに実施されるため、投票率のさらなる低下が懸念される。

■不在者投票知らず CEPTメンバーで、故郷の兵庫県三木市に住む本多さん(20)は、前回衆院選で不在者投票の仕組みをよく理解してなかったため、棄権することになった。その後悔しかった。関心があっても、制度を正しく知らないと、無駄になってしまふ」と痛感した。

メンバー自身の苦い体験も踏まえ、CEPTは若者への不在者投票の説明に力を入れている。3月には高校の卒業式に出向き、制度の仕組みなどを解説。県外の大学に進学する生徒の一人は「福井の将来のためにもしっかり参加したいと思っていた」と話した。説明はとても参考になった」と笑顔を見せた。

今月4日には、鯖江市の女子高生によるまちづくりチーム「鯖江市役所JK課」と一緒に、市内の商業施設の期日前投票所で、活動する予定だ。CEPTのメンバーたちは「できるだけ多くの若者に、投票できる機会がたくさんあることを知ってほしい」と力を込める。

4月6日 県民福井

高投票率に対応へ

知事、県議選

県、市町選管 開票速報リハーサル

県選管と各市町選管は5日、統一地方選の前半戦となる知事選と県議選の開票速報リハーサルを行い、作業の流れを確認した。開票速報を公表する間隔で開票速報を発表する



リハーサルで各市町から雇った開票結果を入力する県職員たち(県庁で)

予定。市町選管からファクスで届く開票経過をパソコンに入力し、読み合わせをして間違いがないかをチェック。各報道機関にも速報のメールを送る。県庁では、二十七人の職員が参加し、一連の作業を約二時間にわたって確認した。担当者は「今回は投票率も高いと予想されるので、四年前より開票に時間がかかるかもしれない」と話していた。(藤共生)

「責任の重さを感じた」

新知事、県議に当選証書



金井委員長(左)から当選証書を受け取る杉本氏(10日、県庁)

7日に投開票された知事選と県議選の当選証書付与式が10日、県庁であった。知事選で初当選を果たした杉本達治氏が「令和」に変わる新時代の県政を担うに当たっての決意を新たに述べた。

杉本氏のほか、代理人を含めた県議選の当選者37人が出席した。県選管の金井亨委員長が一人一人に証書を手渡しした後、「県民が一票に託した熱い期待をかみしめ、県民の安全で安心な暮らしのため、

魅力あふれる地方の創生に尽力してほしい」と激励した。式典後、杉本氏は「非常に責任の重さを感じた。しっかりとこれから頑張っていくことを思った。いろんな形で県民の

声に耳を傾け、前向きに県政を進めていきたい」と話した。県議選で史上最年少の25歳で初当選した松崎雄城氏(小浜市・三方郡・三方上中郡選挙区)は「実感は湧いてきた。ここから県民の皆さんのために働きたい」と抱負を語った。

杉本氏の任期は23日から。県議の任期は30日からで、初当選と復活当選の計9人はゴールデンウィーク明けに初登庁する。県会は今月半ばに臨時議会を開き、正副議長などを決める予定。(桂知之)

活躍期待し当選証書

選管委員長 新知事、県議に手渡す

7日に投開票された知事選と県議選の当選証書付与式が10日、県庁であり、知事選で初当選した杉本達治さん(まこと)、当選した県議らが決意を新たにした。県選管の金井亨委員長が一人一人に証書を手渡し、「福井県の発展、県民の安心で安全な暮らしのため、県政の場で活躍されることを期待している」と述べた。

知事 杉本さん「責任重い」

知事選で初当選した前副知事の杉本達治さん(まこと)は、当選証書を受け取った後、取材に答え「責任の重さを感じた。頑張っていくことを思いました」と述べた。初登庁は二十三日になる。新人が現職にあいさす

県議 新人、現職ら意気込み

県議選の当選証書付与式には代理人七人を含めて三十七人が出席。開式前には、新人が現職にあいさすしたり、名刺を交換したりする姿が見られた。福井市選挙区で二番目に多い一万二千一百十四票を得て二期目に臨む現職の清水智信さん(とも)は「自分の得意分野を広げて、若者男女すべての年代が幸福に感じられる福井県にしていきたい」と意気込みを語った。

4月8日 朝日新聞

知事選投票率58・35%

前回より9・76ポイント上回る

知事選の投票率は58・35%となり、戦後最低だった前回2015年の48・59%を9・76ポイント上回った。最低記録の更新は免れたが、4回連続で60%を割った。前回までの過去3回は現職と共産新顔による一騎打ち。今回は16年ぶりの三つどもえとなり、保守分裂の構図も相まって、注目度は高かった。ただ、無所属候補2人の政策に大きな違いが見られず、投票所に足が向かない人もいたようだ。市町別で見ると、最も有

権者が多い福井市で58・20%(前回46・92%)になったほか、敦賀市で58・16%(同56・76%)を記録。県内最高はおおい町の73・23%(同62・20%)。県議選が無投票に終わった鯖江市は49・01%(同30・28%)で、県内最低となった。



①金井委員長から当選証書を受け取る杉本達治さん
②当選証書を手渡され、期日に臨む清水智信さん(いずれも県庁)



弁護士など華麗な経歴で注目を集め、同選挙区で初当選を果たした山浦光一郎さん(ひかる)は「高揚感よりも責任感が湧いている。政治の世界は初めてなので、さまざまな方と会って県の置かれている状況を勉強したい」と気を引き締めた。県議選では、無投票の選挙区を含めて現職二十八人、新人八人、元職一人が当選した。(鈴木啓太)